



思い出多き学びやをあとに

3月10日、横芝中学校で平成11年度卒業証書授与式が行われ、179人の3年生がそれぞれ卒業証書を受け取りました。

この日、式もクライマックスを迎えると卒業生一同が体育館舞台上に設置されたひな壇に並び、在校生と対面して送辞受け、その後、全校生徒による最後の合唱。歌とともによみがえってくる思い出、そして卒業の喜びに胸いっぱい卒業生は、4月からの新しい生活に向けて歩みだしました。また、3月17日には、大総、横芝、上堺の各小学校で卒業式が行われ、144人の児童が6年間の思い出を胸に学びやをあとにしました。

婦人会のみなさんが『坂田苑』演芸慰問

横芝婦人会が、3月1日(水)に養護老人ホーム「坂田苑」への演芸慰問を行いました。今年、元会員もお孫さんをつれて、参加してくれました。おじいちゃん、おばあちゃんも小さい子どもの愛らしいしぐさに話しかけたり、頭をなでたりしてとても楽しそうでした。唄いながらのリハビリ体操の時、子どもたちの動きに合わせて、みんなで一緒に手を動かしてくれました。優雅な日本舞踊をみたり、小さい子どもたちもふれあい楽しい時を過ごしました。そして、また来年会うことを約束して帰路につきました。



“栗山川の自然と恵みを未来永劫に” 第4回栗山川シンポジウム開催

3月26日(日)、横芝町文化会館で“栗山川の自然と恵みを未来永劫に”をテーマにした『第4回栗山川シンポジウム』が開催され、横芝町・光町の栗山川の環境問題などに関心のある方々約250名が出席しました。今回は親しみやすい川づくりのPRを推進するために、横芝町・光町共同でロゴマークの愛称が決まり、入賞者の表彰が行われました。



最優秀賞を受けるみなさん

とによって、川との関わりについて理解を深めていってほしいと話されました。

最後に、千葉工業大学教授の高橋教授が座長となった意見交換が行われ、会場からは将来の川づくりの要望や質問など、予定時間を過ぎても熱心な意見が交わされ次回集うことを約束して会を閉じました。

ロゴマーク愛称入賞者

— 敬称略 —

最優秀賞 小川 直美(上町2)

若梅 春奈(宮前)

大木 敏江(栗山2)

鈴木 寿一(光町)

平野 和美(光町)



会場では熱心な意見が交わされました